

成人・老年看護学実習（8単位）

実習目的

成人期・老年期にある患者を総合的に理解し、患者に応じた看護を実践できる基礎的な知識・技術・態度を養う。

実習構成

実習名	単位数	対象学年	実習施設
成人看護学実習	2単位	2年次	静岡済生会総合病院
老年看護学実習	2単位	2年次	静岡済生会総合病院
成人・老年看護学実習Ⅰ (急性期・回復期)	2単位	3年次	静岡済生会総合病院
成人・老年看護学実習Ⅱ (慢性期・終末期)	2単位	3年次	静岡済生会総合病院

成人看護学実習（2単位）

1. 実習目標

1) 実習目標

成人期の特徴を理解し、健康障害のある患者・家族に必要な看護を考えられる能力を養う。

2) 行動目標

- (1) 入院前の患者の生活環境・生活習慣について、身体的・精神的・社会的側面から必要な情報を収集できる。
- (2) 基本的欲求に影響する病理的状态について情報収集し、アセスメントできる。
- (3) 入院や疾患が及ぼす影響についてアセスメントできる。
- (4) 患者のアドヒアランスを障害する要因をアセスメントできる。
- (5) 患者・家族のQOL維持・向上に向け、成人期の特性を活かした効果的なセルフケア支援を計画できる。
- (6) 患者・家族のアドヒアランスを高めるためのセルフケア支援を実施し、援助結果を評価・修正できる。
- (7) 患者・家族の価値観に気付き、それぞれが自立・自律した存在であることを認識し、尊重した態度で接することができる。

2. 実習方法

- 1) 受け持ち患者を決定し、看護を展開する。

3. 留意点

- 1) 実習初日に病棟オリエンテーションを受ける。
- 2) 「実習計画表」は事前に1日の実習目標・計画を立案する。(担当教員に相談・報告する。) 当日、計画に沿って実習を行い、評価の欄に目標達成状況を記載する。(病棟で助言を受ける。)
- 3) 学生主体で毎日カンファレンスを行い、学習体験の共有と疑問の解決を図り、学びを深め、広げる。実習5日目までに中間カンファレンスを実施する。実習終了日は、実習での体験とカンファレンステーマを関連づけて終了カンファレンスを行う。
- 4) 実習終了後、実習での学びをレポートにまとめる。